

## 患者さまへ

### 急性めまい患者における診断・検査・転帰に関するレジストリ研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

#### 1. 研究の対象

2016年4月～2027年3月に札幌東徳洲会病院 救急集中治療センターに急性めまい症状で受診し入院治療を受けた/受ける患者さま

#### 2. 研究目的・方法

救急外来を急性のめまい症状で受診し入院した患者さまを対象として、めまいの原因診断における検査方法の有用性や、入院の必要性の判断基準を明らかにすることを目的とし、診療録等の情報を用いて行います。

めまいは救急外来で多くみられる症状であり、多くは内耳の病気によるものですが、小脳梗塞や脳幹梗塞などの重篤な病気が含まれることがあり、適切な診断が重要です。急性期の脳梗塞を調べるMRI検査（拡散強調画像）は診断に有用ですが、発症直後や小脳・脳幹の病変では検出できないことがあります。このため、初回のMRI検査で異常がなくても入院して経過を観察したり、再度MRI検査を行ったりすることがあります。しかし、どのような患者さまに再検査が必要かについては十分に検討されていません。

本研究では、患者さまの背景、症状、診察所見、検査結果、治療内容および経過を診療録の情報から体系的に収集・分析することで、めまい患者さまにおけるMRI再検査の適応の明確化や、安全な退院の判断に役立つ知見が得られると考えられます。

研究の期間：施設院長許可後（2026年7月予定）～2029年6月

#### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、血管リスク（高血圧、糖尿病等）、めまいの発症日時や症状のタイプ、眼振所見、血液検査やMRI等の画像検査結果、入院期間や治療内容 等

#### 5. 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター 救急センター長 増井 伸高（研究責任者）

住所：札幌市東区北 33 条東 14 丁目 3 番 1 号

電話：011-722-1110（代表）

作成年月日：2026 年 6 月 17 日（第 1.0 版）